

抑止力と平和外交

～「正義と秩序を基調とする国際平和」とは何か～



軍事ジャーナリスト
布施 祐仁さん



弁護士・新外交イニシアティブ（ND）代表
猿田 佐世さん
(撮影：初沢亜利)

参加費無料・定員180名（会場参加は予約不要）

日時：**令和8年12月19日（土）**

午後2：00～4：45（開場午後1：30）

場所：**金沢弁護士会2階ホール**（金沢市丸の内7番36号）
（公共交通機関・お近くの有料駐車場をご利用下さい）

お問い合わせ

金沢弁護士会

TEL:076-221-0242

（平日9:00～16:30）



主催：金沢弁護士会

共催：

日本弁護士連合会

中部弁護士会連合会

ZOOM配信も行います。

ZOOMでの参加をご希望の方は、こちらの二次元コードから事前に申込み下さい。



2022年12月の安保三文書の改訂により、防衛力を抜本的に増強するとして、防衛費をGDP比2パーセントにすることや、敵基地攻撃能力を保有することが決定されました。さらに、2026年12月には安保三文書が改定され、防衛費はGDP比3.5%を目指すものとされると言われています。

防衛費の増額は「抑止力」を高めるためのものとされます。しかし、「抑止力」という考え方は、際限のない軍拡競争をもたらし、国家間の緊張を高めかねないと指摘されています。そもそも平和とは戦争の無い状態であり、複雑化した現代社会においては、多面的な外交によって相互の信頼関係・依存関係を形成することによってしか戦争の無い状態を維持することはできません。日本国憲法が誠実に希求すると定める「正義と秩序を基調とする国際平和」とは何か、今問われています。

本シンポジウムでは、軍事ジャーナリストの布施祐仁さんと、弁護士で新外交イニシアティブ代表の猿田佐世さんをお迎えします。日本の防衛政策・施策や軍事の現状とその実効性・限界を検証するとともに、平和外交の内実と実践例を学び、より広い視野から平和を維持する方策を考える機会としたいと思います。ぜひご参加下さい。

【プログラム】

第1部 講演 布施 祐仁さん 「日本の軍事の現状とその実効性・限界」

第2部 講演 猿田 佐世さん 「『新しい外交』を切り開く」

第3部 パネルディスカッション

パネリスト

布施 祐仁さん・猿田 佐世さん

コーディネーター

熊田 慶宏（当会憲法委員会委員長）

【出演者紹介】

布施 祐仁さん（ふせ ゆうじん） 軍事ジャーナリスト



フリージャーナリスト。主な取材テーマは外交・安全保障問題。著書に『従属の代償 日米軍事一体化の真実』（講談社現代新書）、『日米同盟・最後のリスク』（創元社）など多数。『日報隠蔽』（三浦英之氏との共著、集英社）で石橋湛山記念早稻田ジャーナリズム大賞を受賞。その他、JCJ賞、平和・協同ジャーナリスト基金賞大賞、ジャーナリズムXアワード奨励賞などを受賞。

猿田 佐世さん（さるた さよ） 弁護士・新外交イニシアティブ代表



弁護士。米国ニューヨーク州弁護士。新外交イニシアティブ（ND）代表。沖縄米軍基地問題など外交・政治問題について、米議会等で自ら政策提言を行うほか、日本の国会議員や地方公共団体等の訪米行動を実施。テレビ朝日系「羽鳥慎一モーニングショー」のコメンテーターとしても知られる。